

2013年新年会の最終ご案内

今年はわかばの会も新しい事務所に移り、同好会などで沢山の人が訪問して下さっていろいろな交流が生まれました。来年もまた良い年でありますようにと願っています。来年早々恒例の新年会を開きます。

日時：1月15日(火)12時～14時30分

場所：浪漫路(ローマンルー) 参加費：3000円

送迎バス：大池小学校前11時30分(時間厳守でお願い)

路線バス：千里中央①番乗り場⁴⁷番系統・少路2丁目下車100mほど戻る

阪急豊中②番乗り場⁴⁷番系統・少路2丁目下車50mほど進む

申し込み：事務所(12月25日まで) (鈴木陽子(090-9625-1038)、木下妙子(090-1139-1086))



伏尾荘の秋祭りのボランティアに参加して

11月11日(日)、池田市の特別養護老人ホーム伏尾荘の秋祭りのボランティアに参加しました。当日は入会間もない会員も含めて19名の会員がやる気満々で、5台の車に分乗して参加しました。

21回目を迎えたこの秋祭りは、向かいの古刹久安寺の境内も含めて、沢山のイベントが用意されていました。ところが朝から生憎の雨で、急遽時間短縮や予定の変更がありました。加えて、私達ナルク会員は特養2階の入居者の車椅子介助のボランティア予定でしたが、2階の集団風邪のため、介助中止となってしまいました。

そのため施設長より館内のイベントを見て、お食事を召し上がってから適時に解散して下さいということ聞き、ボランティアが突然招待客になるという大番狂わせになりました。参加者の皆様雨の中お疲れ様でした。

(大井文夫)



穏やかな秋の日、民族学博物館と庭園の散策

当日は暖かく穏やかな日に恵まれ、散策には最高の日となった。総勢20名ほどが久方ぶりに声を掛け合い、先ずは民俗学博物館を見学した。建築業界出身の私としては、この建築が衰えずに立派に維持されていることに驚いた。アジアを中心とした種々の展示品には驚かされた。とりわけ飾り物は現在でも充分に通用するものが沢山あって、古今を通して女性の美への執着はさすがと想像させられた。



昼食は日本庭園の本館にて楽しく食事をする事ができた。説明によると名木が沢山残っていて、その当時は5万円以上の木を名木と称すると言われていたが、現在では10倍以上になると言われている。とりわけ本館前の池の端の杉は数百万円では求めることが出来ないのではないか。

それにしても散策道が綺麗に掃除されていて誠に気持ちが良い。紅葉も一部は本当に真紅の葉を残してあざやかであった。

この散策を通じて皆様には愚妻に気を配り、労わって頂いた。さぞかしお荷物になるのであろうと思って、当初は適当な行程にてお別れしようと思っていたが、皆様の介護により全行程を楽しんで歩いてくれた。日頃は椅子に腰かけて居眠りをするかテレビを観るのが殆んどであり、週2回のデイサービスに行っても800メートルを歩くのがやっとであったのが、当日は数キロメートルを皆様と楽しく歩いてくれた。帰途は流石に疲れたらしく、車椅子に乗って皆様に代わるがわる押して頂いた。「ナルクの精神ここにあり」と感謝した次第である。改めて皆様に御礼を申し上げたいと思っている。

(松本義男)